

伊野法人会 青年部会 全国青年の集い茨城大会の報告

全国青年の集い「茨城大会」（11月19日～20日）に私と大野副部会長の2名で参加しました。今回は平成29年11月に開催する高知大会の参考とすべく、各実行委員が宿題を持って臨みました。事前に委員会ごとに視察の目的を明確化し参加したので、参加者各々が真剣な眼差しで目的意識を持って行動する姿を見ると、高知大会の大成功が思い浮かびました。

茨城大会宣言においては、「法人会は半世紀を超える歴史を通じ、税のオピニオンリーダーとして国の根幹ともいえる税の分野を中心とした活動を展開し、国と社会の繁栄に貢献してまいりました。私たち青年部会は、これまでの歴史を通じて培われてきた法人会の理念の下、日本の未来を担う子供たちに、税の仕組み・税の大切さを教え、税の使われ方にも興味を持って国や地域社会を愛する気持ちを醸成させる『租税教育活動』を最重要活動と位置づけています。この租税教育活動をはじめとする青年部会活動の更なる活性化に向け、今大会では『部会員増強』について討論をし、部会員のより一層の拡大と定着を目指します。」と宣言されました。

また、租税教育活動プレゼンテーション最優秀会「広島南法人会」の事例発表では、アクティブラーニングを活用した新しい租税教育活動、一方的に教えるのではなく、子供たちが主体的に授業に参加するようになる双方向型授業について発表されました。授業を受ける子供たちの積極性については、当会活動にも当てはまる大きな課題でもあるので、我々伊野法人会青年部会でも大会報告を1月21日（木）に行い、情報・体験の共有を図り、今後の租税教育活動の充実に役立てることが出来ました。

記念講演会では宇宙航空研究開発機構（JAXA）名誉教授でいらっしゃいます的川泰宣氏の宇宙をキーワードに子供たちが育つ家庭・地域の絆を深め豊かな未来を築く活動についてお話をお聞きしました。「はやぶさプロジェクト」の中心的メンバーであった時の経験を活かし、チームワークがミッション達成のために不可欠な要素であるという事を説かれ、改めて学ぶことが出来ました。